

授業科目名・形態	高齢者福祉論	講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	中里 操		実務経験の有無	無	開講期	1年後期

【授業の主題】

高齢者の生活を取り巻く社会情勢や高齢者施策の変遷のなかで、再雇用・就労問題、扶養や放任・虐待など高齢者と家族が抱えている様々な生活課題を、社会福祉や介護問題として理解する。その上で生活支援にあたって必要とされる福祉や介護の考え方、介護保険制度や高齢者医療制度など高齢者福祉・介護に係わる他の法制度について理解する。

【到達目標】

1. 高齢者とその家族を取り巻く社会環境を理解する。
2. 高齢者福祉の発展過程について理解する。
3. 高齢期の介護問題と施策について、介護保険制度を中心に理解する。
4. 高齢期の健康維持と医療制度について理解する。
5. 高齢期の社会参加と就労・教育・地域活動。
6. 高齢期の特徴・生活課題を踏まえたソーシャルワークを理解する。

【授業計画・内容】

- 第1回 社会福祉と高齢者福祉、高齢期の特徴とその理解
- 第2回 高齢者の生活実態と社会環境、高齢者福祉とその歴史の変遷
- 第3回 老人福祉制度
- 第4回 介護保険制度①（介護保険制度の背景と目的）
- 第5回 介護保険制度②（介護保険制度の仕組み：保険者と被保険者、保険料）
- 第6回 介護保険制度③（要介護認定の仕組みとプロセス、保険給付）
- 第7回 高齢者医療制度
- 第8回 オレンジプラント認知症施策
- 第9回 年金制度
- 第10回 虐待防止と成年後見制度
- 第11回 高齢者雇用安定法、育児介護休業法
- 第12回 高齢者支援の専門職とその役割
- 第13回 専門職以外の支援を行う人たち
- 第14回 高齢者と家族等に対する支援の実際
- 第15回 高齢者福祉の課題

【授業実施方法】

講義形式で行う。

【授業準備】

前回講義を復習する。講義予定箇所を読み、専門用語、概念等について調べておく。疑問点を整理しておく。講義中に事例として取り上げたニュースなどは自分で確認しておく。

【主な関連する科目】

社会福祉概論、社会保障論、地域福祉論等

【教科書等】

新・MINERVA 社会福祉士養成テキストブック『高齢者福祉』 ミネルヴァ書房

【参考文献】

適宜紹介する。

【成績評価方法】

授業への取り組み姿勢 20%、提出レポート 30%・期末試験の成績 50%の総合評価とする。

【学生へのメッセージ】

高齢者を取り巻く現状と課題を踏まえ、地域包括支援システムを理解する。介護問題に収斂せず、地域文化も含めた生活環境と生活実態に関心を持って下さい。